

企業価値を高める CSR活動



クミアイ化学工業では、2018年度より「いのちと自然を守り育てる」ことを目指す当社のCSRの考え方や課題、取組みの進捗をステークホルダーの皆様にご理解いただくためにCSRレポートを発行しております。2019年度版では、CSRの取り組みと2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の関連性を示しながら最新の報告をまとめあげました。事業を通して新たな価値を提供していく「攻めのCSR」とコーポレートガバナンスを中心とした「守りのCSR」、それぞれが

SDGsの17目標のいずれに貢献しているのかを明示することで、従業員一人ひとりが日々の業務のなかで実践する意義を感じとれるようにしました。また、2019年度版ではグループ企業の活動の紹介も行っております。2020年度は、クミアイ化学グループ版のCSRレポートとし、新たにグループ会社のCSR重点課題も公表します。

今期は、新型コロナウイルス感染症に関する社会貢献活動として、医療・福祉関係者の活動支援となる日本赤十字社への寄付金や、子会社であるケイ・アイ化成株式会社の抗菌剤を使用した抗菌おしぼりの事業所所在の自治体への配布、農業関係者支援と従業員への感謝を兼ねたJAタウンギフトカードの支給等を通じて支援活動を行ってまいりました。このような事態の中であるからこそ、企業の社会的責任を果たしていくために様々な取り組みを進めてまいります。株主の皆様におかれましてはCSRレポートをぜひご一読いただき、当社の活動へのご理解を深めていただくとともに、忌憚のないご意見をお聞かせください。

実践中のCSR活動の一部をご紹介します

どんぐりプロジェクト®

東日本大震災で影響を受けた緑地の回復を目指して、宮城県内でどんぐりを収集し、当社で苗木に育てた後、宮城県内の森林に植樹しました。現在は育樹へと移行しています。

※「どんぐりプロジェクト®」は、東京ガス（株）の登録商標です。



学生懸賞論文

農業教育に貢献するために、学生を対象とした懸賞論文の公募を2012年より行っています。最優秀賞として賞金50万円、優秀賞には賞金20万円を奨学金として支給しています。



CSRレポート

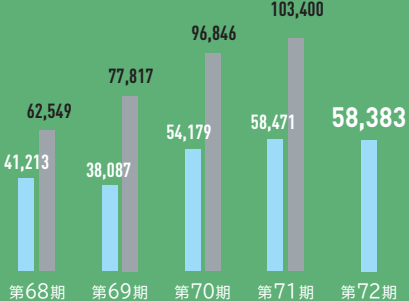
クミアイ CSRレポート

当期経営成績

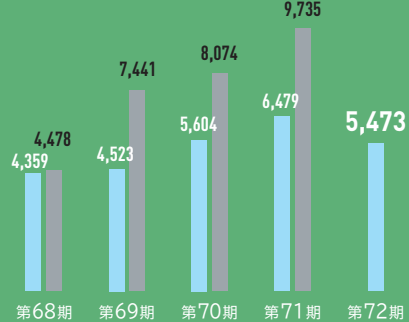
当上半期は前年比減収減益となったものの、期首予想を上回り全体として好調に推移。期末目標「売上高1,130億円」を目指します。

第2四半期
通期

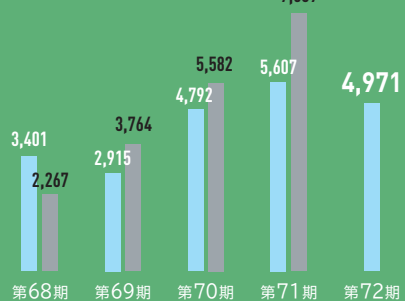
■売上高（単位：百万円）



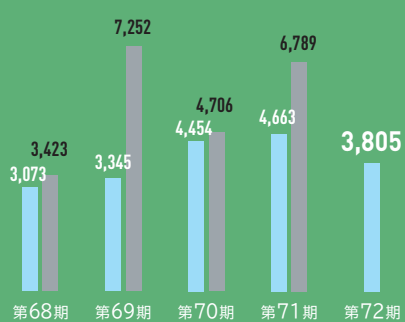
■経常利益（単位：百万円）



■営業利益（単位：百万円）



■親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



株式情報/会社情報（2020年4月30日現在）

■株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	133,184,612株（自己株式 8,134,990株を含む）
株主数	10,549名

■株式分布状況



■会社概要

会 社 名：クミアイ化学工業株式会社
 設立年月日：1949年6月20日
 資 本 金：4,534百万円
 事 業 内 容：殺虫剤・殺菌剤・除草剤などの農業の製造・販売
 有機中間体・アミン硬化剤等の化成品の製造・販売
 従業員数：1,676名（連結）（2019年10月31日現在）
 本社所在地：〒110-8782 東京都台東区池之端一丁目4番26号

■大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
全国農業協同組合連合会	26,527	21.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	9,829	7.86
CGML PB CLIENT ACCOUNT / COLLATERAL	8,635	6.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7,974	6.37
農林中央金庫	6,117	4.89
共栄火災海上保険株式会社	4,480	3.58
静岡県経済農業協同組合連合会	2,770	2.21
第一生命保険株式会社	2,080	1.66
日本曹達株式会社	1,928	1.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	1,688	1.34

（注）1. 持株数は千株未満を切捨てて表示しております。
 2. 当社は自己株式8,134,990株を保有しておりますが上記の大株主から除いております。
 3. 持株比率は、自己株式（8,134,990株）を控除して計算しております。



クミアイ化学工業株式会社

本社 東京都台東区池之端一丁目4番26号 ※この株主通信に関するお問合せは下記までお願いいたします。

広報・IR課 03-3822-5036

株式メモ

事業年度：11月1日から翌年10月31日まで
 定時株主総会：毎年1月中
 株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先（郵送先）：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 基準日：定時株主総会については10月31日、その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
 公告の方法：電子公告により行う公告掲載URL
<https://www.kumiai-chem.co.jp/>
 （但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。）

株式に関するお手続き等について

当社株式のお手続き窓口とお問合せ先は次のとおりです。

お手続き窓口及びお問合せ先

- まだ受け取っておられない配当金の受領に関するお手続き及びそのご照会
- 特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き
- 株主名簿にご登録の配当金受取方法に関するご照会
- 株主様宛郵便物等の発送と返戻に関するご照会
- 特別口座に関する各お手続き及びそのご照会

お手続き窓口 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店の窓口

お問合せ先 三菱UFJ信託銀行株式会社
 各種お問合せ 0120-232-711

インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- お取引の証券会社等に開設されている振替口座に預託されている当社株式に関する単元未満株式買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き
- 上記の各お手続きに関するご照会

お取引口座を開設されている証券会社にてお手続き又は、お問合せをお願いします。



IR情報を当社ホームページでご覧になれます。
<https://www.kumiai-chem.co.jp/>

クミアイ化学工業



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

証券コード 4996

クミアイ化学工業株式会社

73カ
Letter
vol.05
第72期 中間株主通信 2019年11月1日→2020年4月30日

いまこそ 未来を 拓く力を



代表取締役 社長

小池好智

Create the Future

はじめに、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々およびご家族・関係者の皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々および感染拡大により日常生活に影響を受けているすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の方々をはじめ、国民の健康と生活を支えてくださっている多くの関係者の皆様に、最大限の敬意と感謝を表しますとともに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を切にお祈り申し上げます。

今期、クミアイ化学工業株式会社は、中期経営計画の3年目、仕上げの年を迎えています。当期の連結売上高予想は、1,130億円、連結営業利益予想は80億円です。事業環境の変化もあり、当初の中期経営計画の売上目標1,160億円、営業利益目標90億円には未達としておりますが、昨年度当社グループとして初めて売上高1,000億円を超えるなど、中期経営計画全体としてはおおむね順調に推移しています。

今期は、成長ドライバーである畑作用除草剤「アクシーブ」の販売国拡大に加え、昨年本格販売を開始した水稲用除草剤「エフィーダ」による国内シェア拡大などにより、連結売上高1,130億円達成を目指します。さらに、今期登録を取得した新規水稲用殺菌剤「ディザルタ」や化成品事業でのグループ全体の経営の選択と集中など、更なる成長に向けた取り組みを推進いたします。

現在、世界中で新型コロナウイルスが大流行するなか、当社はかねてより備えていたBCP計画を基に、迅速かつ的確な危機管理を実行しています。第2四半期時点での当事業への影響は自動車関連産業の不調などによる化成品事業の一部に留まり、主力である農業事業への影響は軽微であることから、事業全体としてはおおむね計画通りに進捗しております。不確実性の高い今こそ、関係者の皆様および従業員の安全を確保して守りを固めながら、攻めの姿勢も崩さことなく事業を推進いたします。

Developmental Skill

未来を拓く 開発力

国内農業へ永続的に貢献できる、
待望の新剤「ディザルタ」を開発



稲の病気の中で最も被害の大きな
「いもち病」に高い効果

ディザルタ（一般名：ジクロベンチアゾクス、商品名：ブーン）は、クミアイ化学工業が創製し、JA全農と共同で開発した新規水稲用殺菌剤成分です。また、日産化学株式会社とも共同で開発を進めてまいりました。本有効成分は、水稲の病害のなかでも最も被害が甚大となる「いもち病」に対し、高い防除効果と長い残効性を発揮します。「いもち病」は、米の収量と品質に与える影響が大きく、農家の減収に直結する重大な病害です。水稲は国内農業の主軸でもあるため、長年に亘って「いもち病」に高い防除効果があり、環境への負荷が少ない薬剤が待ち望まれてきました。

当社では、「いもち病」への高い防除効果と安全性、さらには耐性菌リスクの低さを併せ持つ薬剤として、ディ

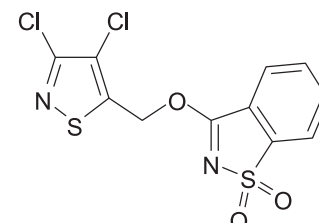
ザルタを有効成分とする『ブーン』混合剤3剤の農業登録を2020年に取得。大きな需要が見込まれる国内市場で2021年から販売を開始する予定です。

植物本来の力をひきだす仕組みで、
耐性菌発達リスクを低減

『ブーン』は、植物が本来備えている病害抵抗性を増強し、病気にかかりにくくする作用を持ちます。そのため耐性菌の発達リスクが低く抑えられ、未永く農業に貢献できる薬剤です。

幅広い病害に、
幅広い使用時期に対応

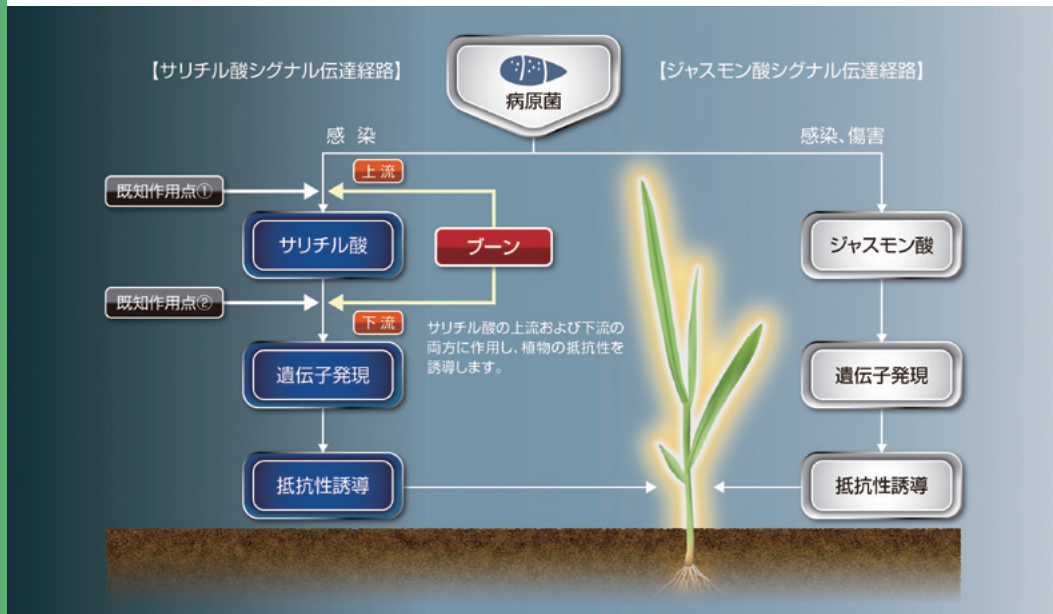
「いもち病」だけでなく、白葉枯病、穂枯れなどの幅広い病害に効果を示します。また水稲に対する安全性が高く長期残効性を有するため、播種前～移植当日という幅広い時期に使用でき、大変利便性の高い薬剤です。



一般名：ジクロベンチアゾクス
ブランドネーム：ディザルタ
商品名：ブーン

■サリチル酸シグナル伝達経路を介した抵抗性誘導

『ブーン』を使用すると有効成分が植物体内に移行し、植物の病害応答反応の1つであるサリチル酸シグナル伝達経路を活性化させ、植物体全体に防御反応を誘導します。



Technical Skill

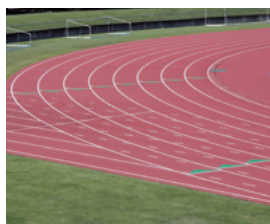
未来を拓く 技術力

【化成品受託】
化成品事業で顧客満足度の高い
受託製造を実現

クミアイ化学グループの第二の柱である化成品事業において、当社では長年培ってきた農業原体の製造技術を軸に医農薬中間体、電子材料、顔料中間体、高分子原料など幅広い分野に及ぶファインケミカルの受託による製造・販売を行っています。顧客の様々なニーズを詳細に把握し、小スケールから大スケールまで対応できる多くの汎用設備（マルチパーパスプラント）や環境保護のための大型でクリーンな廃棄物処理設備など充実の設備を整え、顧客満足度の高い製造を実現しています。

【ウレタン硬化剤】
半世紀にわたり、
高付加価値なアミン硬化剤を販売

当社では1964年より、ウレタン樹脂・エポキシ樹脂を固める際に欠かすことのできないアミン硬化剤の製造・販売を行っています。ウレタンには様々な使用用途があり、日常生活でも目にすることが多い素材の一つです。なかでも当社の製品は、高い耐久性が求められるコンクリート建造物の屋上防水用のウレタン塗膜防水材や高い耐摩耗性が求められる産業用機械の部品などに用いられます。高い性能が求められるなか、当社は独自の開発技術を活かし、耐熱・耐摩耗性に優れた製品や、環境対応型製品など市場のニーズを深掘りした付加価値の高いアミン硬化剤を提供しています。



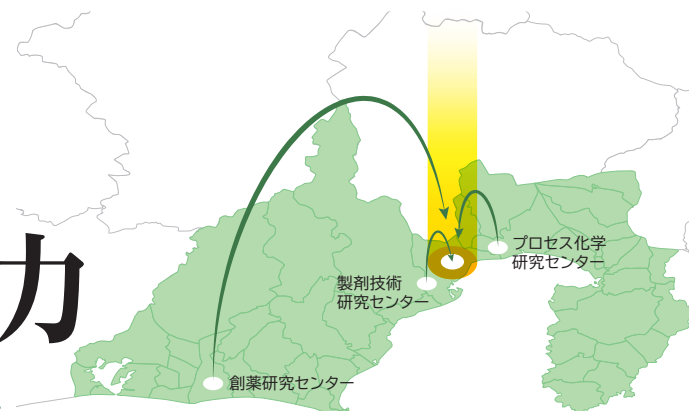
Research Skill

未来を拓く 研究力

50年先を見据えた
新研究所棟建設

研究開発型企業である当社は、5年、10年先の展開だけでなく、更にその先の50年後までも見据えて、「将来に亘って発展できる強い持続企業」を目指し、最新鋭の新研究所棟を創業の地である静岡市清水区に建設いたします。2023年を完成予定として、現在、静岡県内の3か所に分散して立地する化学系の研究センターを統合。圧倒的な創薬力を誇る「創業研究センター」、ニーズを的確に捉え製品化を推進する「製剤

技術研究センター」、環境負荷が低く安価で安定的な生産を可能にする「プロセス化学研究センター」を統合することで、研究開発プロセスを一層強化し、最大限のシナジー効果を生み出します。当社のものづくりの中核として、継続的な新農業創製、製品開発、新技術開発を推進するとともに、既存事業の育成のみならず新規事業の創出を目指し、独自の研究開発力で未来を拓いてまいります。



創業研究センター
新規化合物の創製



製剤技術研究センター
化合物の製剤化



プロセス化学研究センター
化合物の工業的製造法確立